

# 災害に備えましょう

## ～非常用飲料水は各自で備蓄する習慣を～

災害はいつ起こるか分かりません。時には、甚大な被害をもたらす私たちの生活に大きな影響を与えます。山武水道では、ライフラインである水道が断水しないよう全力で施設の維持管理に努めておりますが、災害等で配水管の破損などが起こった場合、完全復旧には大変時間がかかると考えられております。このような場合に備え、ご家庭でも非常用飲料水を備蓄する習慣をつけましょう。

### ◇非常用飲料水備蓄量の目安

人が1日に必要とする水分は、約3リットルといわれております。災害に備えて3日分の飲料水を備蓄しましょう。

### ◇非常用飲料水の備蓄方法は

清潔でフタのできる容器（ペットボトルの空き容器など）を用意し、口元いっぱいまで水道水を入れ、ほこりや雑菌が入らないようにしっかりとフタをしましょう。

保存場所には、日の当たらない涼しいところを選びましょう。

上記方法で保管した場合、消毒用に入れてある塩素の効果は3日ほど持続しますので、その間は飲むことができます。保管する水道水は3日に一度は入れ替えて、古くなった水道水は洗濯や掃除などに利用してください。

なお、家庭用浄水器では、残留塩素を取り去ってしまうものがあります。残留塩素が減少した水は保存には向きませんのでご注意ください。

### ～お風呂の残り湯の再利用を～

災害時に水が出なくなったとき、トイレに使用したりいろいろな用途に利用できます。また、事故が起こらないようお風呂にはフタをしておきましょう。



写真は、4人家族が1日に必要とする水量です。  
(2ℓのペットボトル6本=12ℓ)

# 水道施設の耐震化について

## ～基幹管路・重要給水施設配水管～

山武水道では、今後における更なる震災対策として、給水区域内に布設されている配水管総延長約1,400kmのうち、主要な口径350mm以上の基幹管路及び主要病院等の重要施設に給水している管路を優先的に、耐震性に優れた水道管に入れ替える事業を計画的に進めてまいります。

### ○基幹管路耐震化

基幹管路については、総延長約52kmのうち、耐震化されていない約42kmを平成38年度までに更新してまいります。(延長は平成26年度末見込み)

### ○重要給水施設配水管耐震化

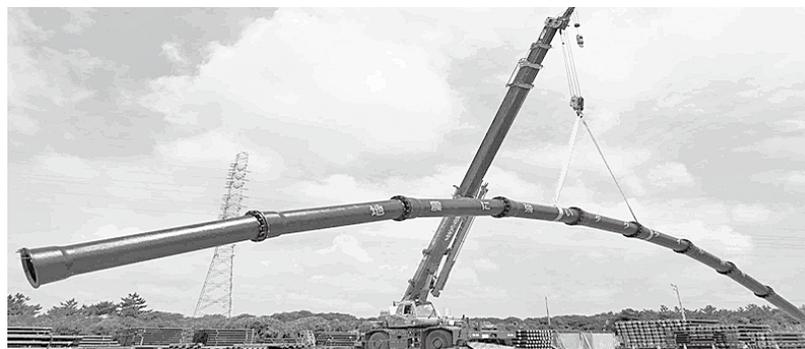
重要給水施設への管路については、124カ所が耐震化されていない状況ですので、このうち特に重要な71カ所を平成41年度までに更新してまいります。

基幹管路の耐震適合率

	基幹管路 総延長	耐震適合性のある管(※2)の延長		耐震適合率	耐震管の割合
		耐震管の延長	耐震管以外の延長		
山武水道	52km	27km	10km	52%	19%
全国(※1)	96,816km	33,692km	20,942km	35%	22%

※1 管路延長は平成25年度の全国合計値

※2 耐震適合性のある管：耐震管と耐震管以外で地盤条件等により耐震性があると評価できる管



耐震性に優れた水道管 (NS型ダクタイル鋳鉄管)  
「一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会」提供

# 更なる向上を目指して

## ～地域水道ビジョン2010～

平成23年度～平成32年度の10年間について「安全で安心な水の安定供給」を基本理念として、4つの計画目標を掲げ、積極的な事業展開を図ります。

### ～4つの計画目標～

- ① 水道の運営基盤の強化・顧客サービスの向上
- ② 安心・快適な給水の確保に係る方策
- ③ 災害対策等の充実に係る方策
- ④ 環境・エネルギー対策の強化

